

# ささえあい



# かわら版

## 地域名

ほうじょうづ  
**放生津**

人口	世帯数	自治会数
4,028人	1,901世帯	24自治会
65歳以上 (高齢化率) 1,770人 (43.9%)	ひとり暮らし 高齢者数 515人	第3層生活支援 コーディネーター 1人 (コミュニティセンター職員)

※令和4年3月現在

## ささえあい事業の取り組みの経過

- 平成30年6月 地域支え合いネットワーク事業 申請
- 平成30年7月 第1回設立準備会・第2回設立準備会
- 平成30年8月 第3回設立準備会 (資源マップ作成)
- 平成30年9月 第4回設立準備会 (地域課題会議)
- 平成30年9月 第5回設立準備会 (事業申請)
- 令和2年2月 第1回支え合いネットワーク事業報告会
- 令和3年2月 地域づくり計画表 作成
- 令和3年3月 第2回支え合いネットワーク事業報告会



ほうじょうづ  
**放生津**  
地域

## 1 地域のすばらしさ & 不安を話しあおう！

### 地域課題会議

- 1回目 平成30年8月3日 参加者：14人
- 2回目 平成30年9月6日 参加者：57人

いつまでも住み続けられる地域を目指して、地域課題会議を放生津コミュニティセンターで開催しました。

当日参加者：振興会役員、地区社協役員、自治会長、民生・児童委員、ふれあいサロン代表者、100歳体操世話役、各種団体関係者、地区内の介護支援事業所



## 地域をつよみ

ここが素晴らしい！

- 男性 自治会長**  
歴史・伝統がある。放生津八幡宮の築山・曳山祭り、獅子舞等、祭りが盛ん！
- 女性 ボランティア団体**  
旧町内が現代でも受け継がれている。世話好きで仲間意識が強いよ！多くの人達とコミュニケーションがとりやすい。
- 女性 地域振興会役員**  
学校・保育園、病院、商店街、銀行、介護施設などあり、コンバクとなまちで住みやすく、歩ける範囲内で生活できるよ。

## 地域のよわみ

ここは変えたい…

- 男性 民生・児童委員**  
少子高齢化が進んでいて、一人暮らしの高齢者も多いよ。人材不足が心配…
- 男性 サロン代表者**  
海が近くて、地盤が柔らかいから、災害が起きたときどうしよう…
- 女性 ボランティア団体**  
個人商店が減ってきていて、賑わいが減少。欲しいものを買うには車が必要。車がないと不便だ。

## わたしたちができること

放生津の歴史を知り、伝統文化を守っていこう。子どもたちにも放生津の良さを伝えていこう！



自分の健康は自分で守りながら、高齢者へお互いに声を掛け合っていこう！

女性 各種ボランティア団体

自主防災活動を定期的に行っていこう！



## 2 地域の方向性を決める、活動の羅針盤！

### 地域づくり計画表

#### 課題(ニーズ)

- 一人暮らし世帯や高齢者世帯が増えている。また世帯数や人口は減少している。
- 子どもの数も減少している。
- 商店経営者の高齢化のため、後継者不足。買い物バスはあっても、行きたい店が近くにない。

#### 計画(取り組むこと)

- 「いきいきサロン」「100歳体操」のグループが継続できるような環境を整えていく。
- コミュニティセンターで実施している100歳体操グループにおいては、生涯学習事業や各団体の行事と共催したり、海王居宅支援事業所の協力のもとミニ講座を開催したりしていく。
- 世話役の方が集まる情報交換会を開催し、情報共有や各グループの支え合い活動の状況確認を行う。
- 子ども食堂の開催日に合わせて子どもが集まる場所を提供する。
- 民生委員が中心となっているケアネット活動の中で、地域での見守り活動を実施する。
- 市の施策を紹介し、多くの住民の方に社会参加してもらえるように情報発信をしていく。
- 自主防災組織を立ち上げる。

#### 目標(目指す地域像)

- 自分の健康は自分で守る。
- 健康寿命を延ばす。
- 若年層や子どもも交わる、つながりのある地域づくりを目指す。
- 日常的に必要な支援(買い物、除雪等)が受け入れやすい体制づくりを形成していく。

## 3 やってみたい！ご報告

### 活動事例

放生津コミュニティセンター内に設置する地域ささえあい組織「なでしこ会」を核として、地域に既存の100歳体操グループと連携をとりながら、徐々に活動の輪を広げています。

### 1 100歳体操グループ



- なでしこ会 (放生津コミュニティセンター)
- かざみどり会 (東町東部) あじさい会 (東町西部)
- かぐや姫会 (中町) 若葉会 (二の丸本町)
- ききょうの会 (越の湯町) りんどうの会 (獅子絵田)
- コスモスの会 (二の丸町)



### 2 ミニ講座の開催



海王居宅介護支援事業所や各種ボランティア団体に協力していただき、定期的に介護予防や健康維持を目的としたミニ講座を実施しています！



# 射水市 地域支え合いネットワーク事業

## 事業の概要

「射水市地域支え合いネットワーク事業」は、地域の皆さんが、いつまでも安心して暮らし続けられる地域を目指して、地域の課題を地域全体で共有し考える、**地域の皆さんによる、地域の皆さんのための事業**です。

子どもから高齢者まで見守りが必要な方たちを、「困ったときはお互い様」の気持ちで、**他人事ではなく我が事として、助け合い・支え合い**ができる地域の**つながり**を作ります。

## 目指すもの

1 **高齢者の健康寿命を伸ばそう**



2 **要支援者の重度化を防ごう**



3 **見守りあい、助けあいができる地域を維持しよう**



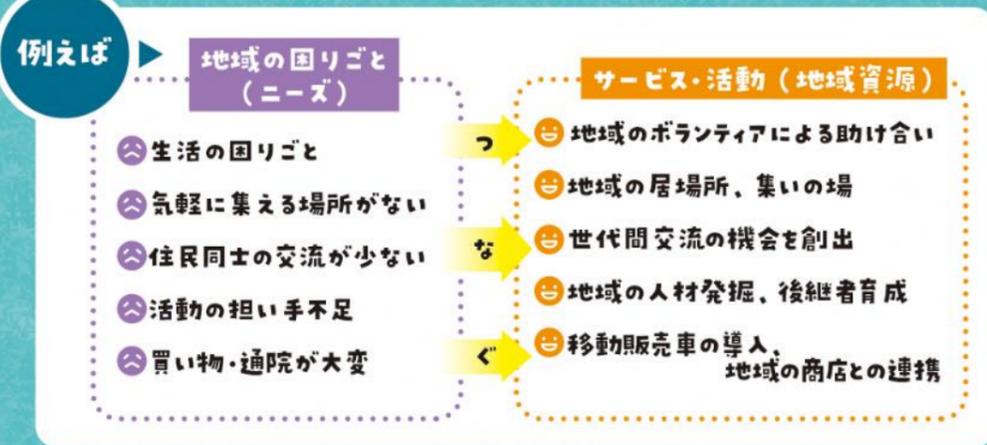
目標（目指す地域像）  
**いつまでも安心して暮らし続けられる地域**

あなたの地域にもいます！

地域での支え合いの仕組みづくりを「**生活支援コーディネーター**」がお手伝いします！

**どんな人？** 生活支援コーディネーターは、**人と人、人と地域を「つなぐ」役割を持つ人**です。

**具体的な役割** ● 地域内の各種団体との連絡調整をする  
● 地域の困りごと（困っている人）を適切な**地域資源**（地域の居場所や福祉サービス）につなげる など。



## 編集後記

「出来る人が、出来る範囲で。出来ることを自分のために！」各種ボランティア団体、海王居宅介護事業所、新湊東包括支援センター、市の担当者、何より、参加される方皆さんのおかげで今日まで地域づくりに取り組むことができています。いつも感謝しています！

しかし、今年もコロナ禍でなかなか思うように事業を開催することが出来ず、残念なところもありました。

高齢化率が非常に高い地域であり、皆さんの健康について常に案じているのですが、私の心配は無駄なほど、皆さんチョーお元気ではつらつとしておられます！皆さんのパワーをもらって、このコロナ禍が落ち着いたら、もっと地域全体が、支え合いや助け合いを感じるような、楽しい計画を実行していきたいと思っています。

それまで、皆さん自分の体をちゃんと自分で守ってくださいね！

まあ、その前に、どこでも皆さんのメチャクチャ元気な姿に会えるんですけどね（笑）。



吉野 富士子さん  
第3層生活支援コーディネーター

## 放生津 地域の担当は…

新湊東地域包括支援センター  
TEL : 0766-86-8739 FAX:0766-86-8687  
所在地：射水市七美882番地1（ケアハウス万葉内）

「私たちもお手伝いします！」



射水市地域福祉課  
TEL : 0766-51-6625 FAX:0766-51-6657  
所在地：射水市新開発410番地1